

## 櫛池隕石落下物語 (歴史編)

上越清里星のふるさと館



夕方6時半頃 南から北へ白い煙をひいて落ちる



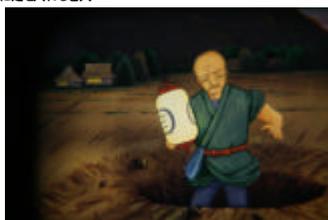
落下時の水煙 約9m



落下物の穴



穴に足を入れる老人



大正9年9月16日 この日は朝からよく晴れた日で、上中条の人たちは、道路の修繕のため櫛池川の河原から石を運んでいました。

田んぼも、間もなく秋の刈り入れを待つ状態になっていたのです。

夕方6時半頃、「ゴオツ-」という、飛行機のような音が聞こえたので、空を見上げると、南の方から北の方に雲のような白い煙を引きながら、落ちてくるものがありました。

その瞬間ものすごい音を立てて、田んぼに何物かが落ちたのです。

水煙(みずけむり)がおよそ9mも舞い上がり、水蒸気が立ちのぼり、村中が大騒ぎになりました。

上中条の人たちは、「飛行機から爆弾を落としたのではないか。万一触って爆発でもしたら大変だ」としばらく様子を見ようということになりました。

一方隣の棚田集落の人たちは、「爆弾にしてはどうも様子がおかしい。隕石、俗に言う流れ星というもので、掘り出してみよう」と言うことにしたのです。

役場の用務員をしている梨平の70歳の老人が「もう年だし、死んでもいいから」と決死の覚悟で、落下物が、めり込んだ穴に両足を入れてみたところ、素足にざらざ

榑池隕石 4.42 kg



らしたものが触れました。  
どうもこれは爆弾ではなさそうだ」という  
ことで榑田区長の笹川九一郎氏の指  
揮のもと消防団員が、深さ約 1 m 程掘り進  
むと、大きさ 15cm 程の石を夜 10 時過ぎ  
に掘り出すことが出来ました。

掘り上げた石を見て、当時の榑池小学校  
の校長先生は「隕石」と判断しました。

赤銅色の石で重さ 1 貫目、今の重さで約  
4 Kg 余り、中は金色に光っている「珍し  
い石」だとわかり協議の結果榑田集落内で  
大切に保管することになりました。



当時の高田日報は、「黒煙を立てて石が  
降る」「信越国境の榑池村へ、金色さん  
たる奇石。」「字民一同は、これを神様の  
石としてあがめ奉る」と報じています。

また高田新聞は、「爆音と黒煙を立てて大  
空から、金色の石塊が落下す。」「このよ  
うな隕石の落下は珍しい事と言うべき」と  
同じく報じています。

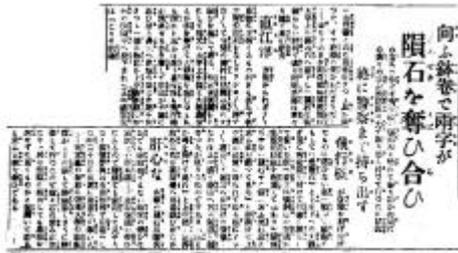


一方では、榑田の区長 笹川九一郎氏は隕  
石を高田警察署に届け出ました。

その届け書は次の通りです。

大正 9 年 9 月 16 日午後 6 時 30 分頃、怪し  
き大音響あり。皆驚がくし、飛行機の  
墜落ならんと(この日、大字榑田中が道路  
修繕をなしいる)皆、頭を上げて四面を回  
見するせつな、本村大字上中条字浦田同字  
上原栄作所有、小作者本村大字榑田、笹川  
精一郎、田中へ何物が墜落し、雲煙の沸騰  
するを認めたり。





高田日報（大正9年9月17日）

もしくは、爆裂弾ならんという。

付近までは、駆けつけたるも落所に近寄ることを棚田区長停止し、その付近に夜警を置き（この日駐在巡査不在）それより在郷軍人に聞きただし役場へ届け出、午後10時頃棚田私設消防組合を招集し注意の上、落所を掘削したれば、泥中3尺下に形容5号枘ほどの奇石あり。

よく洗ってみれば、表皮黒色はげめは砂質金光を帯び、目方1貫190目なるものを掘採す。

右とりあえずお届け申し上げ候

大正9年9月17日

棚田区長 笹川九一郎

高田警察署長 御中

これに対し、落下地籍が、上中条であるから、所有権は上中条にあるとして、地元の人が、9月19日高田警察署へ陳情するという騒ぎになりました。

こうして、隕石の所有権を巡って、上中条と棚田の両集落で争うことになりました。

当の高田警察署も隕石は、遺失物でも埋蔵物でもないことから、民法上の所有権とか先取得権とかの争いで、なかなか決着が付きませんでした。

さらに9月20日には、東京天文台や東大の先生が調査に来て村民、小学生を集めて講演を行いました。



当時の新聞は、直江津・高田・新井はもとより長野からも見物に来て9月28日までに1万2500余名の見学者があつて山間の村は村始まって以来の賑わいであつたと報じています。

高田連隊将校達の参観者 正面が区長の笹川九一郎氏



隕石は、掘り上げてからしばらくは、棚田区長の笹川九一郎氏宅に保管されていました。この写真は、高田連隊将校らの見学者で、正面の羽織袴の人が、区長笹川九一郎氏です。机の上に白布をかけその上に隕石がおいてありますが、白布がハレーションをおこして隕石が見えにくくなっています。

笹川氏は余りの見物人の多さに「これでは仕事にならん」と隕石を近くの棚田観音堂に移しました。

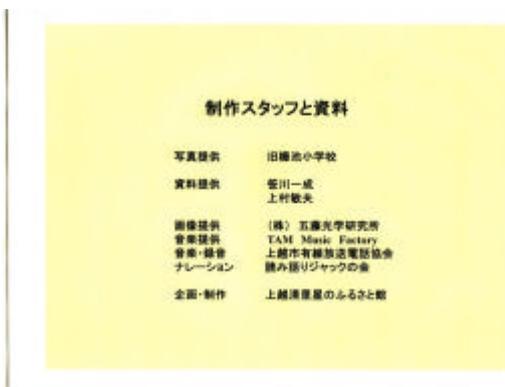
当時の櫛池小学校とグラウンド及び県道



最終的には、隕石は、村長と高田警察署長の相談の結果、櫛池小学校に寄付されることになりました。隕石は大事に金庫に保管していましたが、校長先生は学校の仕事の他に心配も増え大変だったと言います。このように櫛池隕石は、当時の櫛池村に大騒動を巻き起こしたのでした。

そのおかげで、今こうして隕石は清里の地に大切に保管され今日に至っています。

- 写真提供 櫛池小学校
- 資料提供 笹川一成  
上村俊男
- 画像提供 (株)五藤光学研究所
- 音楽・録音 上越市有線放送電話協会
- ナレーション 読み語りジャックの会
- 企画・制作 上越清里星のふるさと館



制作スタッフと資料

写真提供	櫛池小学校
資料提供	笹川一成 上村俊男
画像提供	(株)五藤光学研究所
音楽提供	TAM Music Factory
音楽・録音	上越市有線放送電話協会
ナレーション	読み語りジャックの会
企画・制作	上越清里星のふるさと館